

令和元年度
学校関係者評価報告書

令和2年4月
学校法人すみれ学園
四国医療福祉専門学校

1 学校関係者評価委員

委員

野崎 泰博 委員長(元高等学校校長)

山口 吉英 委員 (特別養護老人ホーム愛生苑 施設長)

山田 能之 委員 (医療法人社団叶夢会 やまだ歯科クリニック トータルマネージャー)

小野 茂男 委員 (医療法人社団海部医院 透析室室長)

神原 良宏 委員 (本校卒業生)

筒井 眞美 委員 (本校在校生保護者)

学校

森 國夫 (校長)

小西 明弘 (事務課長)

鎌田 綱 (介護福祉学科専門課長)

定木 啓至 (医療事務学科学科長)

西岡 幹人 (臨床工学学科教員)

水井 資道 (広報課長) (計12名)

事務局

小西 明弘(事務課長)、水井 資道(広報課長)

2 学校関係者評価の実施方法、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員に自己点検評価の結果を各担当者より説明し、評価結果についてご意見をいただきました。いただいたご意見を本報告書の中に取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の向上に努めることとし、ホームページに公表致します。

3 学校関係者評価委員会 開催日時

令和2年3月28日(土曜日) 10時05分～11時45分 本校1階大会議室

1.校長挨拶及び趣旨説明 森 國夫校長

2.学校関係者評価委員紹介 事務局

3.学校関係者紹介 事務局

4.自己評価概要説明

5.意見交換

自己点検評価の説明について、質疑応答や改善点の提案等について意見交換(別紙参照)

6.閉 会

別紙.

令和元年度 学校関係者評価委員会 質疑応答・意見内容

発言者	内容
発言1	<p>臨床工学学科の学生募集を行う際、難解なカリキュラムへの対応そして国家試験合格を見据えた場合、ある程度の基礎学力のある方に来ていただいた方が良いのではないかと。それに関連して今年度の臨床工学技士国家試験合格率は82.1%であるが、本校は100%となっている。一部の養成校では合格率を上げる為に、国家試験に合格出来る学生のみ卒業させていることも聞いているが、今年度卒業生の入学者数は何名であったのか。</p> <p>臨床実習指導者会で来校した際にも感じたが、本校学生は他校に比べ挨拶の習慣があると感じている。また臨床実習で指導した学生が、国家試験合格の際に挨拶に来てくれたが、とても嬉しく感じた。さらなる改善点ということでは、学校から離れた場面、例えば通学電車内でも医療人としてはマスクを着用する自覚が望まれること等のマナー指導にも力を入れてはどうか。</p>
森校長	<p>今年度卒業した学生の入学者数は23名であり、留年生を除く卒業率は56.5%である。入学時に学力の差は感じられるが、各分野の教員による個別指導等により、修業年限の3年間の間に変わる部分もあるので、意欲のある者は受け入れようと考えている。ただしコミュニケーション力に不安がある場合は、不合格を出す場合もある。</p>
発言2	<p>定員確保の観点で考えれば、入口の部分を広くすることはやむを得ない。入学後のハードル設定があり、結果的に進路変更などで一定程度退学する学生が出てしまうのでは致し方ないのではないかと。但し、退学率の改善目標を掲げていく取り組みは必要である。国家試験の合格率については、学校選択の際に大きな判断材料となるので、高い水準を維持することが必要である。</p>
発言3	<p>自身の娘は臨床工学技士を目指す上で、入学時にやや学力面に不安があったが、単位も修得出来てきており、これまでの2年間の学校側の支援には感謝している。</p> <p>臨床工学技士の知名度はまだまだ低いので、どんな学習をするのは分からないまま入学する学生も多いのではないかとと思われるので、高校に出向き積極的に伝えていくべきではないか。</p> <p>本校卒業生の中には学習面で苦労しながら、国家試験に合格した方もいると思うが、現在はどのような状態なのか教えて欲しい。</p>
水井課長	<p>四年制大学に不合格となり、本校に入学した学生もいる。しかし3年間の在学中の努力により香川県立中央病院の採用試験で四年制大学の学生と競合した際に、本校学生を評価していただき採用された事例もある。すべての学生の状況を把握しているわけではないが、大半の卒業生は臨床工学技士として医療機関で勤務を継続しているとの実感がある。</p>
発言4	<p>前香川県臨床工学技士会の会長として、専門学校卒業生と四年制大学卒業生の双方に関わってきた。4年間学んでいる大学生の方が知識量多いと感じられる。しかし仕事に対する責任感や真面目さは専門学校卒業生の方が優れていると感じられる。自分のミスを認めて次に繋げていける姿勢であるのも、専門学校卒業生の方ではないか。</p>
発言5	<p>元高等学校教員との立場でお話すると、最も嬉しく感じるの、お預けした学生が専門学校や大学在学中に成長していることなので、今後もぜひお願いしたい。</p>

<p>発言6</p>	<p>本校の一番良いところは挨拶が出来るところではないか。福祉施設の施設長という立場上、香川県内の介護福祉士養成校すべてに関わることがあるが、本校が一番出来ている。また当施設は坂出市というやや香川県の西部にあるので、香川県西部にある介護福祉士養成校の卒業生を雇用する機会が多いが、現時点では養成校出身者の中で本校学生の占める割合が最も高くなっており、定着しており、良い指導が為されていると感じる。</p> <p>専門職を目指していく上で、退学率を0%にすることは不可能だと思われるが、具体的な目標設定を行い、進路を変更する学生に対しては、変更を後押しする姿勢があっても良いのではないかと感じる。</p>
<p>発言7</p>	<p>自分自身、本校で介護福祉士と取得した後に、医療系の資格取得を目指し、改めて進学し学んだが、非常に学習は大変だった。学生本人のやる気を大切にすべきだと思うし、留年したとしてももう1年在学して学べる環境があるのはありがたいことではないか。</p> <p>現在、自分の勤務している施設にも本校介護福祉学科の卒業生が在籍しているが、中心となって頑張ってくれており、学校側は学生に対して、きちんと在学中に指導が出来ているのではないかと感じる。</p>
<p>発言8</p>	<p>総括、次年度に向けた課題・提言ということで、お伺いしたい。現在基礎学力を上げるためのパソコンを用いたシステム構築はあるのか。</p>
<p>森校長</p>	<p>設けていない。現在は個別指導で対応している。</p>
<p>発言9</p>	<p>各先生方も日常の業務で多忙であると思うので、取り入れても良いのではないかと。次に退学者防止の委員会はあるのか。</p>
<p>森校長</p>	<p>現在は全学科を包括したものではなく、各学科の教員が学生の性格、性別等も考慮しながら、個別面談を行い対応している。</p>

森校長 本日、皆様からご意見いただいた、ご指摘、ご提案、アドバイス、お褒めいただいた事を次年度の教育に活かして生かしていきたい。